

不登校対策支援プラン

更新日 4 月 1 日

プランの策定にあたって

県内において不登校児童生徒数は増加傾向にある中、不登校対策では、対象や課題性に基づいた取組が求められています。全ての児童生徒を対象とした取組や不登校の予兆が見られる児童生徒への支援、欠席が継続している児童生徒への支援を組織的かつ計画的に行うことが必要です。

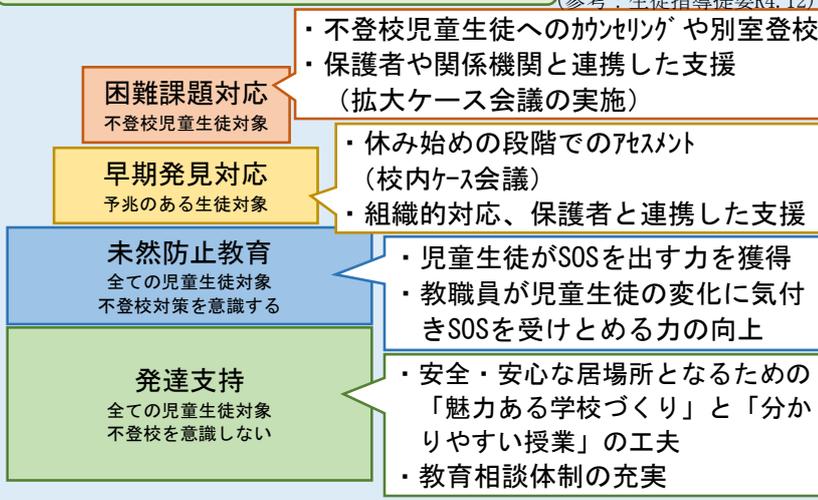
本校では、実態を把握し、以下の目標や取組を設定し、教職員が一丸となり対策を進めることで、誰一人取り残すことのない、持続可能な不登校対策や支援を行います。

不登校対策の目標

- 1 前年度、予兆が見られた生徒が不登校とならないようにする。
- 2 別室登校している生徒との関わりを深める。
- 3 保護者やカウンセラーや関係機関と連携し、不登校の生徒へ支援する。

不登校対策における重層的支援構造

(参考：生徒指導提要R4.12)



不登校対策チーム構成

管理職、不登校担当、生徒指導担当、学年代表、養護教諭、SC、SSW、学級担任、不登校児童生徒支援員

不登校児童生徒支援関係機関等

教育支援センター、学校教育課、しそく学校サポートチーム、学校運営協議会、家庭児童相談室 民生委員児童委員協議会

4つの層での取組 等

発達支持

- ・授業の中で安心して学習ができる集団づくりをする。
- ・自主的で体験的な活動を支援し、自己有用感や達成感を高める。

未然防止教育

- ・SCと連携し、教育相談やソーシャルスキルトレーニングを実施する。
- ・いじめアンケートやQ-Uアンケートによる生徒の内面理解に努める。

早期発見対応

- ・健康観察、欠席状況、学級内の雰囲気、個別面談等により、小さな変化に気づく。
- ・教職員間で共通理解し、組織で対応する。
- ・保護者とSCを繋げ、カウンセリングや支援を実施する。

困難課題対応

- ・校内に別室を設置し、安心して過ごせる場所を確保する。
- ・教育センターへ教師が出向き、学習や生活の支援をする。